

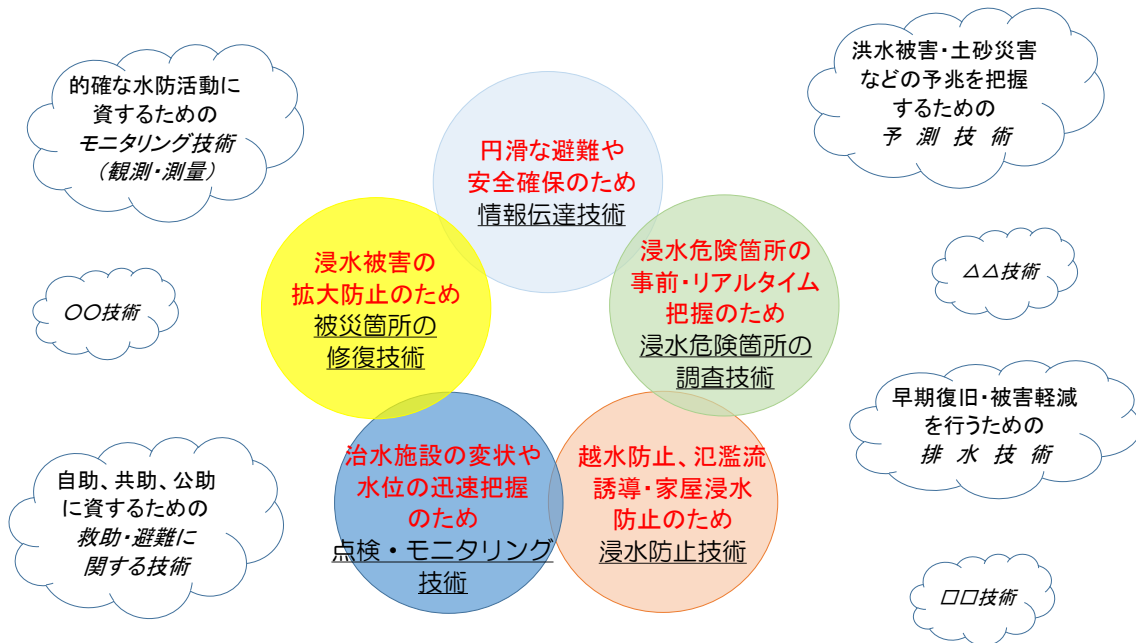
## まえがき

本技術情報集は、自治体や水防団などで水防災活動に取り組む際の参考として活用してもらうことを目的としています。

実際の浸水被害や予測される浸水被害に対して、その被害の防御方法や軽減方法は、地域特性によって千差万別です。それぞれの地域特性に応じた水防災を適用する必要があり、各地域でこれまで経験してきた浸水被害や、全国的に頻発している豪雨、高潮、津波災害などを勘案し、事前に準備することが重要です。

本技術情報集は、洪水（外水や内水氾濫）、高潮、津波等による浸水被害を防止あるいは被害の拡大を軽減するための数多くの技術の中から、下図に示す5つの技術体系（項目）を対象にとりまとめたものです。この技術情報集を参考に水防災技術の動向について注視していただければ幸甚です。

なお、水防災技術は日々進化しています。本技術情報集の中に記載した製品は、平成30年11月から令和4年8月にかけて、HPやパンフレット等により一般に公開されていたもののうち、実用化されているものや一部研究中のものを参考事例としてとりまとめたものです。情報集に記載した技術情報や製品に関する問い合わせは、記載されている開発会社や出典先に直接お願いします。



### 水防災技術体系図 (ver1)

令和4年8月  
一般社団法人リバーテクノ研究会